

「秋の箱根で森林教室」

10月8日（金）箱根森林事務所部内の畑引山国有林89林班で、相模女子大学小学部4年生78名が森林教室を行いました。当初、担当の先生からは植樹



を希望していましたが、近年箱根にもニホンジカによる食害が見られ、せっかく植えた苗木が被害にあう可能性があるため、植樹については断念しました。

そこで、「人工林の森林の育て方」をテーマに植え付け、下刈り、つる切り、除伐、枝打ち、間伐について説明し、各作業で使用する道具を実演しながら紹介しました。特に

刈り払い機やチェーンソーの実演では、大きな音と迫力に子供達は驚いていました。質問では、間伐した木はどうするのか？木の寿命はどの位なのか？など沢山あり、職員も説明に一苦労。

講義が終わると、ヒノキの間伐材の丸太切りを6班に分かれて挑戦。女の子が多い学校でしたが、みんな上手にノコギリを使い2度、3度と体験しました。

相模女子は昭和48年から当署に森林教室に来て頂き、今回で38回目を迎



えました。それだけに植樹が出来なかったのは残念です。来年はシカによる被害を防ぐ方法を考え、是非植樹出来るように工夫したいと考えています。

